



2021年4月15日

**アイス ラテも、アイス キャラメル マキアートもストローなしのスタイルに
使い捨てプラスチック削減のため、全 23 品目のアイスビバレッジを
FSC®認証*1 紙カップとストロー不要のリッドで 4 月 16 日(金)より順次提供スタート**

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社(本社所在地:東京都品川区、代表取締役最高経営責任者(CEO):水口貴文)は、国内全店舗*2で、アイスのスターバックス ラテやキャラメル マキアートなどの冷たいビバレッジ全 23 品目を、ストロー不要のリッドで提供開始し、新たな飲用スタイルをご提案いたします。併せて同商品のプラスチックカップを FSC®認証紙カップに変更し、店舗で発生する使い捨てプラスチックの削減をさらに進めてまいります。

スターバックスでは 2021 年 2 月より国内全店舗*2で、アイスコーヒーとアイ스티ー2種の計 3 品目を、使い捨てプラスチックに代わり、ペーパーカップとストロー不要のリッドで提供開始いたしました。そしてこの度、2021 年 4 月 16 日(金)より順次、その対象商品を全 23 品目へ拡大いたします。これは定番アイスビバレッジの約 70%にあたり、本取り組みを通して、年間約 6,700 万本分のストロー*3と、その同数(約 6,700 万杯分)*3のプラスチックカップ削減効果を生む見込みです。



【ストローレスリッド/ペーパーカップでの提供予定商品】

- 2021 年 2 月切り替え済み : アイスコーヒー/アイ스티ー/すべてのホットビバレッジ
- 2021 年 4 月 16 日より順次 : 上記に加え、スターバックス ラテやキャラメル マキアートなどアイスのエスプレッソビバレッジ
アイス チャイ ティー ラテ/アイスココア/アイスマルク/キッズ ミルク/キッズ ココア

■ **アイスビバレッジはストローレスで。新たな飲用スタイルを提案**

使い捨てプラスチック製資材の削減や、代替素材切り替えへの社会的な関心や機運が一層高まる中、スターバックスは、2020 年 1 月の紙製ストロー全店舗導入を皮切りに、使い捨てプラスチック資材削減のアクションを積極的に推進してまいりました。今回のストローレスリッドの提供拡大は、ストローの紙素材への切り替えから更に一歩踏み込み、ストロー自体の使用量削減につながるものです。

ホット・アイス双方に使用できるストローレスリッドは、快適な飲み心地で、コーヒーの Aroma も楽しめるよう、ホットビバレッジに使用していた従来のリッドよりも飲み口を大きく設計しました。また、フリップアップの形状を採用することで、TO GO(持ち帰り)時に使用していたプラスチック製のマドラーや、飲み口をふさぐシールなどの削減にもつながります。



■ **結露しにくいペーパーカップで、プラスチック容器削減目指す**

国連環境計画報告書によると、日本は、一人あたりのプラスチック排出量が世界で 2 番目に多い*4 とされ、その年間排出量は約 850 万トン*5に上るといわれています。また新型コロナウイルスによる巣ごもり需要や持ち帰りニーズの増加に

より、プラスチックごみの量は増加傾向にあります。今回のプラスチックカップのペーパー化は、年間プラスチックごみ排出量の約半数である47%*5を占める、プラスチック容器や包装等の削減につながるものです。

ホット・アイス双方に使用できるペーパーカップは、冷たい液体を注いでも結露の影響を受けにくく、耐久性を持たせるよう、カップの内側、外側共にラミネート加工を施しました。またこのカップは、適正に管理された森林およびその他の管理された供給源からの原材料で生産されたFSC®認証紙を使用しています。



アイスビバレッジでもストローを使わず、ペーパーカップで楽しむ。今までとは少し違うこの飲用方法が、サステナブルな未来をつくる新習慣となるよう、全国4万人のパートナー(従業員)と共にお客様に提案してまいります。

*1 スターバックスはFSC®ライセンスナンバー、FSC® N002500を取得しています

*2 一部狭小店舗を除く

*3 4月16日からの切り替え予定商品をベースに、ペーパーカップとストローレスリッドを使用する対象商品の年間提供予測数から算出

*4 国連環境計画 2018年6月公表資料内「Plastic packaging waste generation, 2014」引用

*5 一般社団法人プラスチック循環利用協会 2020年12月公表資料内 2019年プラスチックごみの年間排出量引用

参考:スターバックスの使い捨てプラスチック削減を目指す取り組み

■ 紙製ストロー全店舗導入

FSC®認証紙ストローを2020年1月より段階的に導入し、現在は国内の全店舗で提供しています。この変更により、年間約2億本分のプラスチックストローの削減につながります。



■ 繰り返し使えるリユースアイテムを全店舗で販売

使い捨てカップ削減を目指す新たな選択肢として、2020年2月より「リユーズブルカップ」を全店舗で販売しているほか、2021年3月には、ケース付きで持ち運びにも優れたリユーズブルストローや、繰り返し使えるカトラリーセットを期間限定で販売。使い捨て資材削減を目指す「Reduce」のアクションに加え、リユースアイテムの提案も加速させています。



■ プラスチック製ギフト包装資材を全廃

2020年1月より、プラスチック製ギフト包装資材を廃止し、ペーパー素材およびオーガニックコットンを使用したギフト資材へ変更しました。これにより、年間約18トンのプラスチック削減につながります。*有料の包装サービスを含みます。



◆スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 <https://www.starbucks.co.jp/>

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社は、1996年に東京・銀座に日本第1号店を開業。現在、全世界83か国で32,000店舗以上、日本全国47都道府県において1,628店舗(2020年12月末時点、ライセンス店舗を含む)のコーヒーストアを展開しております。「人々の心を豊かで活力あるものにするために—ひとりのお客様、一杯のコーヒー、そしてひとつのコミュニティから」をミッションに掲げ、約4万人のパートナー(従業員)が、一杯のコーヒーを通じて、人と人とのつながりと心あたたまるひとときを提供しております。2019年2月28日には、世界5拠点目となる「スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京」をオープンしました。

お客様からのお問い合わせ先 0120-336-388
※間違い電話が多くなっておりますのでお気を付けください
(10:00-18:00 年中無休、国際電話、IP 電話からは 03-5745-5890)